

「大規模イベント開催に伴う多数傷病者対応訓練」を実施！

札幌市消防局

札幌市消防局では、「ラグビーワールドカップ2019」、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」等の大規模イベント開催に向け、令和元年6月18日（火）に、札幌ドームにおいて多数傷病者対応訓練を実施しました。

本訓練は、入場待ちの観客の列に大型車両が衝突し、多数の負傷者が発生したとの事故想定で、北海道警察、市立札幌病院及び各関係機関と連携して、初動対応から救出・救護・搬送までの一連の活動を実施し、現場対応能力の向上及び相互の連携強化を図りました。



車座研修会

松戸市小金消防署

この度、松戸市小金消防署では、今年、第2回目となる「車座研修会」を開催いたしました。この研修会は、採用10年未満の若手職員16名が参加して、気軽に意見交換や悩みを分かち合い、近くに相談できる仲間がいることの気づき、重要なコミュニケーション要素の1つである「共感・共有」を図ることを目的といたしました。今回の研修会が、ハラスメントなどの不祥事防止に繋がり、十分な意思疎通が図られた職場環境の醸成が出来たことと感じております。



消防通信 望楼 ぼうろう

火災防ぎょ合同訓練を実施

海老名市消防本部

令和元年6月14日・21日・28日の3日間、海老名市消防署南分署において火災防ぎょ合同訓練を実施しました。災害発生時の初動対応及び各隊の連携強化並びに現場経験の少ない若手職員の基本的技術の習得を図ることを目的とし行い、訓練後には検討会を実施し、多くの意見が交わされました。今回の訓練により課題も見つかり、今後の火災防ぎょ活動や訓練に活かすことができ大変有意義なものとなりました。



火災防ぎょ合同訓練

世界文化遺産 清水寺において京都市消防局長特別査察を実施！！

京都市消防局

令和元年7月11日、世界文化遺産の清水寺において、京都市独自の防火運動である「夏の文化財防火運動（7月12日～18日）」に先駆け、多くの報道陣が見守る中、山内京都市消防局長による特別査察を行いました。

本年4月、同じく世界文化遺産であるフランスのノートルダム大聖堂で発生した火災を受けて、消防用設備の設置状況や操作方法、改修工事中の本堂における出火防止、消火準備等について確認を行いました。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】